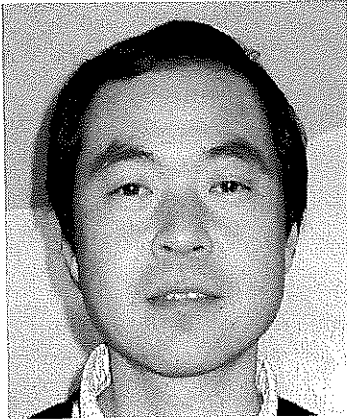


のっぽの手

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル
TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218
E-mail center@f-npo.jp
URL <http://www.f-npo.jp/>

反論の余地、ほとんど、なし



ふくしまNPO
ネットワークセンター
理事
牧田 実

私事で恐縮だが、私の趣味は、読書、音楽、映画である（酒も好きだが）。これらは無趣味の人間が苦し紛れに履歴書に書く定番の符丁であり、人に誇れるようなものではない。けれども、本を読み、音楽を聴き、映画を観る（そして酒をのむ）、それはもう生活の一部となっている（活字は「飯のタネ」でもあり、CDは2,000枚に近くに増え、映画は年に100本は観ている。酒は……？）。ただ困ったことにどれもこれもやたらと「時間」がかかるのである（音楽は数十分（オペラなんぞは数時間）、映画は2時間、本ははるかにそれ以上、まとまった時間がほしい）。

これも私事だが、ウチは子持ちの共働きである。おまけにお互い片道100km弱の遠距離通勤だ（電車なら本が読めるし、車なら「音」さえ我慢すれば音楽が聴けるけど）。弁当と朝食は私

の担当だし、子どもの迎えと夕食の支度は早く帰れる方がやるしかない。要は時間がないのだ（若いころのように睡眠時間を削るわけにもいかない）。

で、NPOというかボランティアである。一方が家を空ければ一方に負担がいくのが共働きの必然。お互いさまとはいえ、私の方に「外の仕事」が多い分、針は微妙に傾いている。かくして妻の冷たい視線が背中に突き刺さる。「家族（＝私！）を犠牲にして、お金にもならないことを……」。然り。反論の余地、ほとんど、なし（だけども、大学教員なんて世間様に食わせてもらってるようなものなんだから、ボランティアだって「仕事」みたいなものでしょ……ブツブツ）。

誘われるままに、とりあえず「勉強」と不謹慎な動機から理事になった私だが、2年目に入ってそろそろ「その先」を考える時期に来ているのかもしれない。けれどももう一歩踏み出すためにはそれなりの「覚悟」がいることもまた事実。「之を楽しむ者に如かず」——そんな境地は遠く、ふらふらと腰の据わらないヒラ理事は、こうして少し悩んだりもしている。



「すぐに活かせるNPOマネジメント講座」スタート



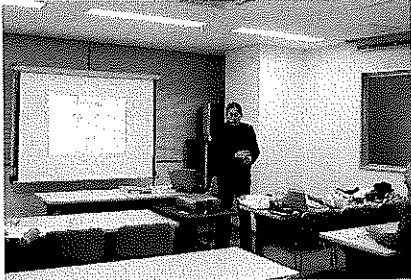
平成19年度住民提案型アウトソーシング事業NPOマネジメント講座が、11月23日いわき会場、11月24日会津会場を皮切りにスタートしました。「NPOマネジメント講座」「NPO会計実務」「パソコン会計実習」の全3日間の内容です。

実務的な内容なので参加者の関心も高く、熱心に聴講されていました。また、「NPOとはどんなことをやっているの?」といった興味から参加される方もちらほら。本講座が何か「キッカケ」づくりになれば幸いです。

尚、福島地区は来年の1月13日からスタートしますが、定員となりましたので、申し込みは締め切りとさせていただきます。ありがとうございました。

元気印NPO「ザ・ピープル」の活動と課題

話題提供：吉田恵美子氏（特定非営利活動法人 ザ・ピープル理事長）



NPO研究会の新しい取り組みが始まりました。従来取り上げてきたNPO周辺の制度改革やNPOを取り巻く環境変化など、これはこれで継続してタイムリーに取り上げていきますが、今回から元気印のNPOや悩みを抱えているNPOなどの活動紹介もしていくことにしました。NPOの実態に触れながら、時には一緒に知恵を出しましょうという新しい取り組みです。

そのトップバッターとして、県内でも元気のいいNPOとして知られる「特定非営利活動法人 ザ・ピープル」理事長の吉田恵美子さんにご登場願いました。ザ・ピープルは古着のリサイクルからはじまり環境コミュニティビジネスの展開、ラオスの子供たちへの支援というNGO活動、さらには高校生と連携した人づくり事業、リサイクル品の販売など、活発に活動を展開するNPOです。これらが、古着のリサイクル事業をきっかけに、それぞれ理由があって次々と発展して行っているところが面白いところです。そして、補助金や助成金に頼らずに、自主事業中心に展開しているところはまさに天晴れです。

また、困っていることについても率直に話していただきました。それは、とてもリサイクルできないほど状態の悪い古着についての処理です。廃棄処理を避けるために、いろいろなアイデアを出しながら奮闘を続けています。そしてこの問題はすでに産学連携の研究テーマになりつつあります。これが大きなビジネスに発展すれば素晴らしい展開になると思いました。（文責 星野 珉二）

第5回、市民活動フェスティバル開かる

市民活動フェスティバルは今年で5回目を迎えますが、県北NPOネットが中心になって行われる一大イベントであります。

市制100周年記念事業ということもあり、関係者の意気込みはかなりのものがありました。

また、昨年に引き続き行事の中の一つに“ふくしまスカイパーク”において大掛かりなイベントが催されました。10月27、28日の2日間のうち、初日は雨で参加者が非常に少なく心配されましたが、2日目は非常によい天候に恵まれて、多くの福島市民の皆さん他の来場があり、大成功となりました。（約1万数千人の来場者がありました。）

今回の主催は県北NPOネットを中心にして実行委員会が設けられ、諸計画の中心としての役割を果たしましたが、メンバーの皆さんはなかなか忙しい方々なので意見交換等の会合はいつも夕方からという状況で大変だったと思います。

春から一連の各団体の行事を繋げて、市民活動フェスティバルを年間の行事として企画したことは昨年までの、その当日だけのイベントとは違って、考え方にかなりの進歩が見られました。ですが、参加した各NPOの実情は資金的、人的にも余裕が無いことを委員の一人として痛切に感じた次第です。

さらに、11月10日に行われました今回の市民活動フェスティバルの総括シンポジュームのこむこむにおける催しには参加者数は少なく我々の力不足を痛感致しました。

今回の事業（イベント）を実施することのみに力が入り、その他の内容には目が届かなかったというか、そこまで配慮する力が不足していたと言った方が当たっているかと思えます。

もっと集客方法に知恵と力を配分することが今後は必要であること、さらには、関係するNPO各団体の参加を多くすることにも、もっともっと真剣に考え、力を入れる必要があります。

ある関係者曰く、人（お客）を呼ぶのではなく、“人のいるところに出かける”という発想が必要では？ なかなか上手い考えではありませんか。

イベントは箱型の施設の場所と時間を決めて行うのではなく、“人が集まっているところに出かけて行って”行う新しい方法が可能そうな気がします。そんなことが出来るのはNPOだけかも知れません。（斎藤 健 記）

笛ふけど団塊踊らず…?

ろうきんプログラムの報告

理事長 清水 修二



定年を間近に控えた労金会員（労金に口座を持っている労働者）やOB会員に呼びかけて、第2の職場としてのNPOの存在をアピールすることを目的にして取り組まれたのが今回のプログラムです。セミナーを開いてNPOを紹介し、興味を引かれたNPOに短期のインターンシップに入ってもらおうという企画です。

コーディネートを依頼された当センターでは「シャローム」「ふくしま飛行協会」「ひびきの会」「まごころサービス」「りょうぜん里山がっこう」に働きかけ、当センターも加えた6つのNPOが参加してセミナーを開催しました（11月4日）。私が「NPOとは何か」と題して講義をしたあと、各NPOがそれぞれの活動を紹介します。あとは個別面談という順序でした。

団塊世代が大量に定年退職の時期を迎えていることから、NPOや市民活動の潜在的担い手がドツとばかり社会に登場すると期待する空気が流れています。NPOと聞くと「無償の社会奉仕」と誤解する人々が多いなかで、多少の収入源にもなり得るNPO活動の実際の姿を知ってもらうのは大事なことです。しかし実際に今回のセミナーをやってみて感じたのは、釣り堀で糸を垂れるような塩梅にはいかない現実です。NPOの有為な担い手を得るのは、溪流でアユの友釣りをするようにつもりで取り組むべき、むずかしい事業だということです。

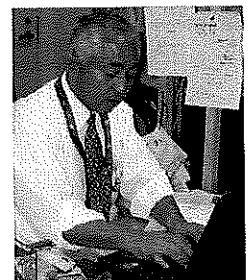
ろうきんプログラムは東北6県で同時に取り組まれたものですが、各県とも苦戦しているようです。チラシを撒けば客が集まる、といった楽観的なスタンスでは決して成果につながらないという、ある意味では当たり前のことが証明されたといえます。プログラムは来年度も継続される予定です。初回の経験をしっかり生かしていきたいものです。

言霊への旅／私の信金道／

第五回

ふくしま情報ステーション所長

武藤 進



ふくしん入庫以前、私は「漬物」が食べられなかった、というより、食べたことがなかった。我が家の食卓に定番の漬物はなかったのである。父が東和町貧農の出であり、幼い頃それしかなかった「漬物」は、たぶん、臭いどころか見るのもいやだった。のかもしれない。

前述したように初任地は伊達郡保原町の周辺部、山間の集落。商談で座敷に上がれば、お茶菓子ほどの家も漬物が梅干。それを「アガラシヨ、手工、出さんシヨ」と、今まさにヨレヨレの現金を数えたばかりの手に、盛り上げてご馳走してくれるのである。手を洗ってから、うがいをしてからご馳走になりたかったし、何より、変な臭いのする食べたことのない漬物、である。「なじよしたの？好きで、ねえのがい」「いやいや、…ダイ、好き、です、よお」。えらい、ままよと、目をつむって一口でゴックン。おやっ、これは…微妙な塩加減と酸味、そして後からチョッピリ辛味が効いてきて、これはうまい！美味しい、のである。バリバリ、音を立てて食べた。「若い人はいいな。ホント、うまそうに食べる。もっと、どうだい」漬物とお茶を交互にいただく。そうすると「朝茶には、まず、梅干、だない」と大きな梅を手のひらにのせ、なんと、白砂糖をたっぷりかける。

「食は文化」というが、訪問する家ごとに味にバラエティがあり、業績や営業抜きに漬物が好きとなり、自然、漬物が美味しい家の訪問頻度はうなぎのぼり、地区ごとの拠点となった。「奥さんの、ダイゴン漬、最高、だない」思ったままを口にすると、一緒にお茶をご馳走になっていたお隣の奥さん「あんだない、クチには匂いつけらんしよ」「えっ？」「女の人に『ダイゴンうまい』っていうゴドは、男女の関係のゴドにつながんだ、そい」意外のアドヴァイス、初耳であった。

（続く）

福島市市民活動サポートセンターからのお知らせ

◆ふくサポの講座スケジュール◆

- 1月20日(日) 13:30~16:00 ウィズもとまち NPOマネジメント講座
専門講座「NPOの“知的財産”戦略」 講師:松田 英明 氏
- 27日(日) 13:30~16:00 ラヴィバレホール NPOマネジメント講座
連続講座3「支援獲得の上達術~中間支援NPOからの提案と交流」
- 2月23日(土) 13:30~ ラヴィバレホール オープンセミナーPART2
“地域力”を高める! NPOが取り組む、コミュニティビジネスの可能性
第1部 講義 講師:柳田 公市 氏
第2部 鼎談&意見交換会 パネリスト:齋藤 善章 氏 他

※詳細は <http://www.f-ssc.jp> または下記までお問い合わせください。
TEL 024-526-4533 / E-mail: f-ssc@bz01.plala.or.jp

◆ふくサポホームページ開設◆

これまで、「ふくサポ」からの情報発信は隔月発行の「ふくサポ通信」が中心でしたが、
今後はホームページに催事情報や最新の助成金情報などの支援情報を中心に掲示していきます。
ぜひ、ご活用ください。 URL <http://www.f-ssc.jp>

ふくしまNPOネットワークセンターからのお知らせ

◆講座スケジュール◆

- 1月23日(水) 13:00~16:30 パソコン講座「表計算・エクセル2003入門1日目」
1月30日(水) 13:00~16:30 パソコン講座「表計算・エクセル2003入門2日目」
2月 2日(日) 13:00~17:00 「NPO塾 in 福島」(予定)
2月 6日(水) 13:30~16:30 パソコン講座「ワープロ・ワード2003入門1日目」
2月13日(水) 13:30~16:30 パソコン講座「ワープロ・ワード2003入門2日目」
2月20日(水) 13:30~16:30 パソコン講座「ワープロ・ワード2003入門3日目」
2月27日(水) 13:30~16:30 パソコン講座「パワーポイント2003入門1日目」
3月 5日(水) 13:30~16:30 パソコン講座「パワーポイント2003入門2日目」

※1月の「すぐに活かせるNPOマネジメント講座」福島会場は定員となりました。

詳しくは「ふくしまNPOネットワークセンター」までお問い合わせください。
TEL 024-528-1211 E-mail center@f-npo.jp

「のっぽの手」では誌面充実の為、理事、職員はもとより、会員様、各団体様よりの投稿をお待ち申し上げております。当センターへのご意見、日頃の活動に関する事、はたまた「よもやま話」などございましたらぜひ下記宛にお寄せいただければと思います。よろしく願いいたします。

ふくしまNPOネットワークセンター事務局 <http://www.f-npo.jp/>
〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビルB1
TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218
E-mail center@f-npo.jp

福島市市民活動サポートセンター <http://www.f-ssc.jp>

ふくしま情報ステーション <http://www.machi-fukushima.jp/>

